



活動報告

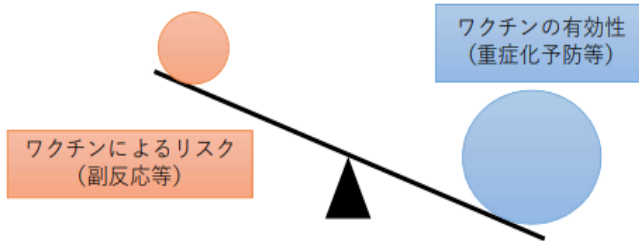
今月は感染管理
認定看護師

2020年1月初旬に中国で原因不明の肺炎が報告され、同年1月中旬には日本でも初めての感染が確認されました。この感染症は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と呼ばれ世界的に大流行(パンデミック)となりました。

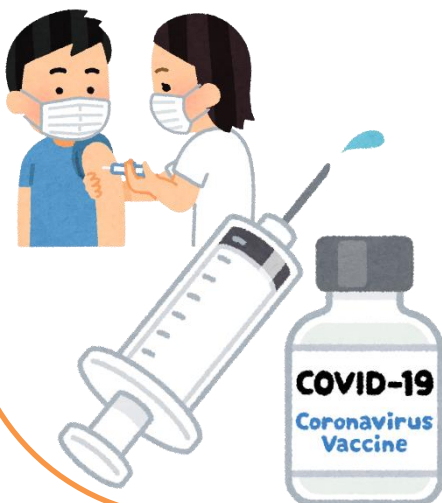
特効薬やワクチンが期待されるなか、日本では3度の流行期を迎え、2021年2月中旬よりワクチンの接種が開始となりました。

ワクチンで予防可能な感染症をVPDと呼び、Vaccine(ワクチン)Preventable(予防可能)Diseases(疾患)の頭文字をとった略語です。ワクチンは細菌やウイルスに手を加え、注射などにより身体に注入すると免疫が作られます。ワクチンにより免疫をつくることを予防接種といい、新型コロナワクチンの効果については発症予防・重症化予防に期待されています。

- ◆ ワクチンの接種後に副反応が生じることがあり、副反応をなくすことは困難である。
- ◆ ワクチンの接種によって得られる利益(有効性)と副反応などのリスク(安全性)の比較衡量(リスク・ベネフィット)により接種の是非を判断する必要がある。



現在まで、様々な場所でクラスターが発生し、感染者の増加により入院病床の逼迫など医療現場にも混乱が生じ当院も例外ではありません。新型コロナ患者受け入れ病院としてワクチン接種が職員の安全を守るための一助になればとの思いで、ワクチン接種の調整を行っています。



※ファイザー製の場合
ワクチン接種の間隔

3週間後の同じ曜日に接種

例)

日	月	火	水	木	金	土
	接種 1回目	①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
⑳	接種 2回目	3週間を超えたら できるだけ速やかに接種				



認定看護師の豆知識

高齢者の減塩指導について

心不全患者において減塩指導は心不全の再発を予防する上でとても重要です。最近、高齢患者も多く減塩により食事量が減少しないよう指導に苦勞することもあるのではないのでしょうか。

高齢になると、舌や口腔内にある、味を感じる部分「味蕾」が減少し、新生児と比べると3割から5割ほど味蕾が少なくなり、特に塩味や甘みを感じにくくなると言われています。原因として、加齢による唾液量の低下や亜鉛不足があります。高齢者の場合には、胃腸機能の低下や複数の服薬による副作用の影響も大きいと言えます。

また、食事を提供する家族も高齢者であることも増えており、指導の際には注意することが必要になってきます。

味付けを濃くなくても、料理をおいしく感じられるように、料理にうまみ成分をプラスしたり、酢やレモンなどの酸味を入れたりして、塩分や糖分量を変えずに味を変えられます。また、料理に香辛料や香味野菜を取り入れたり、味を感じにくい食材を別の食材に変えたりすることで、味覚が低下してもおいしく食べられ食事量が低下しないよう伝えていく必要があります。

塩分
6g



慢性心不全看護認定看護師 原谷こずえ

病棟ごとの勉強会 依頼受付中！

認定看護師会では病棟ごとの勉強会、研修の依頼を受けています。既存のテーマでも、看護で困っていることなどなんでも結構です！

リクエストお待ちしております！

各分野電話番号



救急看護:村上 8863
慢性心不全看護:原谷 8394
感染管理:矢田 8623
皮膚排泄ケア:大西 8397
認知症看護:藤原 8667

